

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：刑事警察費

事業名 防犯関係事務費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 生活安全部 生活安全総務課 電話番号：058-271-2424 (内 3011)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 25,497 千円 (前年度予算額：15,724 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	15,724	0	0	15,724	0	0	0	0	0
要求額	25,497	0	0	25,497	0	0	0	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

公安委員会の所管する警備業、古物営業、質屋営業、風俗営業、銃砲刀剣類所持等取締法等に関する行政事務を効率的かつ適正に処理している。

警備業や風俗業を営む者、銃砲刀剣類所持者に対しては、法定講習を実施する必要があり、また、風俗営業許可等調査業務は専門性が高いことから業務委託を行っている。

今後も許可等事務の適正化と合理化を図り、不適正事案の防止と県民の負担軽減に努めていく。

(2) 事業内容

- ・ 警備員指導教育責任者講習
- ・ 機械警備業管理者講習
- ・ 警備員検定
- ・ 風俗営業 (特定遊興飲食店営業を含む) 管理者講習
- ・ 風俗営業 (特定遊興飲食店営業を含む) 許可
- ・ 構造設備変更承認調査

- ・ 猟銃等講習
- ・ 猟銃等所持者技能講習
- ・ 許可等事務業務管理システム維持費

(3) 県負担・補助率の考え方

公安委員会が所管する各種申請許可や各許可に基づく講習、調査の実施に要する負担であり、その財源は全額、警備業等の手数料を充当している。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	408	講習講師用、業務用
需用費	935	許認可関係用事務
役務費	1,371	講習通知・照会用郵便料
委託料	21,612	各種講習、許可等事務業務管理システム移行及び保守管理
その他	1,171	講師謝金、検定用資機材、会場借上
合計	25,497	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

公安委員会が所管する許認可事務のため、継続的に実施する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
各種講習等を円滑・効率的に実施するとともに、許認可事務の適正化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

各種許認可事務手続きに係る事業であり、指標を設定することは困難である。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
警備業関係では、現任指導教育責任者講習を4回実施し、警備員指導教育責任者講習や機械警備業管理者講習については業務委託を行った。
猟銃等の所持者に対して講習会を22回開催し、技能講習については業務委託を行った。
風俗営業所の健全化等のため風俗営業所管理者への講習業務を委託し、営業許可に係る調査にあっても委託を行った。
許可等事務を適正に推進するため、業務管理システムを運用している。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
各種講習等の募集には多数の申込みがあった。これら講習等については、許可を受けている管理者や個人の業務を適正に実施させるため、次年度以降も継続して実施する。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	風俗環境の浄化を推進したり、猟銃等の適正な所持許可は、地域の健全化と安全につながるもので、事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	各種講習等に関しては、多数の受講・受験申込みがあるなど、適正な許認可業務の実施に寄与している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	専門的な内容であるため、高い知識を有する者に講習を委託して実施することが最も効率的である。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>猟銃等技能講習は、毎年 600 人程度の受講が見込まれるものの、有害鳥獣捕獲従事者の受講免除が認められていることから、受講予定者数を見込むことが困難となっている。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>適切な許認可事務を推進することは、県内における安全・安心な社会を形成することにつながり、今後も継続して実施していく必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	